

# GFSI と COVID-19 – 特別な状況 に対する調和のとれたアプローチ

2020年9月3日 木曜日



GFSI は、COVID19 パンデミックの影響で認証の妨げとなっている食品事業者への継続的な支援の一環として、GFSI は調和のとれたリスク評価に対する私たちの立場を共有できることをうれしく思います。

COVID19 パンデミックが発生してから数か月が経過しましたが、渡航制限により GFSI が認証するプログラムの審査と認証が妨げられ続けています。パンデミックの影響は、地域、産業部門、管轄区域、したがって個々のビジネスによって大きく異なります。2020年の第1四半期から第2四半期までの間に GFSI が認めたすべての CPO を対象とし

- 61,610 枚の証明書が発行されました。
- 12,731 枚の証明書が拡張されました。
- 1,300 枚の証明書が失効しました。

これは、今年に入ってからこれまでに認証組織の約 19%が認証計画に影響を受けたことを意味します。

GFSI は定期的に状況を見直し、これらの予測不可能な時代をナビゲートする際に利用できるオプションについての最新情報を提供することをお約束します。今回の更新では、6月11日に GFSI 理事会が発行した公開レターで約束されているように、認証が失効している組織が利用できるオプションについて具体的に詳述します。

「COVID-19 のポジションに記載されているように、安全性の実績が証明されている食品事業者が求めている延長は保証されています。

- GFSI は現場での審査が調整できず、認証の有効期限が切れる前に現在の認証を更新できないサイトに対しては、食品安全リスク評価の使用を推奨しています。
- 季節性や継続的な規制に関連して一部のサイトが直面する課題については、この状況について主要な顧客と積極的に話し合い、適合性を実証するための代替情報を特定することをお勧めします。
- GFSI 理事会はこれらの問題について詳細に議論してきました。リスク評価を通

じて失効した証明書を扱うサイトに積極的に関与することで、購買企業は供給を維持し、供給パートナーとの責任ある関係を維持できると信じています。

GFSI がリスク評価アプローチの調和に迅速に取り組んでおり、これにより、サプライチェーンのいくつかの課題が軽減できることを共有できてうれしく思います。」

パンデミック関連の制限のために第三者審査のスケジュールを立てるのが困難な認証組織であっても、証明書の 6 か月の延長を 1 回求めることができます。これは、認証プログラムオーナーによって定義され、認証機関が実施するリスク評価に基づいて付与されます。これにより、あなたとあなたの認証機関が旅費や審査員の都合による一時的な制限を緩和するのに時間的な余裕が生まれます。

多くの GFSI 認証認定プログラムは、情報通信技術（ICT）の使用に関する新しい GFSI ベンチマーク要件を審査プロトコルに統合し、部分的な遠隔審査の申請を検討する機会を提供しています。ICT の使用を審査に含める義務はありませんが、審査計画にさらに柔軟性を与え、あなたと認証機関の双方が直面しているいくつかの制限を緩和するのに役立ちます。

一部のお客様は、認証の失効を確認するという不幸な状況に直面します。このような状況に陥っているのは、あなただけではありません。このような状況では、GFSI は、供給を維持するという食品安全リスク評価、および責任ある関係について、ビジネスパートナー間の積極的な関与を提唱しています。

後者の選択肢をサポートするために、GFSI 理事会、そのチーム、GFSI が認定する CPO、および

パートナーの認証機関（CB）組織とそのようなリスク評価でどのような情報が考慮されるかについて協議を行いました。リスク評価の調和のための GFSI の見解は、この協議の成果です。これはリスク評価の設計、および適切な評価ソリューションの選択に関するビジネスパートナー間の会話を支援することを目的としています。このようなソリューションは、認証機関や認証プログラムの所有者から入手でき、このようなデリケートな状況において歓迎すべきサポートやリソースを提供してくれるかもしれません。ビジネスパートナーとの間で選択したリスク評価ツールに関わらず、次のことを確認してください。

リスク評価の方法、所見、結果は、包括的な報告書に正式に文書化されています。リスク評価後に証明書を発行することはできませんが、リスク評価中に収集された貴重な情報は、複数回にわたって参照し、ビジネスパートナーに共有する必要があるかもしれません。

あなたは、このリスク評価がどのくらい有効であるかに関して同意します。審査に対するパンデミックの影響がいつまで続くかは誰も予測できず、リスク評価を再認証や更新する機会が定期的に見直されます。この頻度について事前に合意しておく、非常に歓迎すべき確実性が得られます。

GFSI が第三者認証なしで供給を維持することを提唱していることに、あなたは驚くかもしれません。私たちの主な目的は、あらゆる場所で消費者に安全な食品を確保することです。GFSI の認証は、この主な目的を達成するための信頼できるツールであると信じています。また、この信頼は、GFSI ベンチマーク要件に沿った妥協のない審査慣行を維持することに由来すると考えています。これらの実践を適用できない場合、企業はどの代替リスク評価を適用すべきかを判断するた

めに、十分は情報に基づいた意思決定を行う必要があります。

GFSI の立場で提供される情報がその意思決定プロセスであなたをサポートすることを願っています。このアプローチは、どのような状況であっても、世界中の消費者に安全な食品を提供するという私たちの共通の目的と一致すると信じています。